

野菜花き 8月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 8月20日、21日、22日、23日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期であった。輪紋病の発生がみられたが、少発生であった。前回調査までみられた、アザミウマ類の寄生、果実の白ぶくれ被害は、今回の調査では確認されなかった。また、オオタバコガによる被害果も処分され、少発生であった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。葉かび病の発生が多く、全株に発生がみられた。輪紋病の発生もみられたが、前回調査同様に少発生であった。オンシツコナジラミの寄生株率は前回調査同様に高かった。

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は収穫期であった。うどんこ病の発生が多かったが、罹病葉の整理などにより、前回調査時よりも発病株率、発病葉率は低かった。虫害ではハダニ類の発生がわずかにみられた。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期であった。前回調査時からみられた炭疽病、べと病に加え、褐斑病の発生がみられ（図1）、これらが混発する株が多かった。虫害では、ハモグリバエ類の寄生がみられたが、発生は少発生であった。



図1 キュウリ褐斑病（中野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場では、アザミウマ類の発生が多く、寄生花率が高かった。その他の病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球始期であった。病害の発生はみられなかったが、コナガの寄生がやや多くみられ、チョウ目害虫の被害株率が高かった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。株腐病の発生がみられたが、少発生であった。また、コナガ、ウワバ類の寄生がみられ、ほぼ全株にチョウ目害虫の被害がみられた。

軽井沢町の巡回ほ場は結球期であった。株腐病の発生がみられたが、少発生であった。ウワバ類の寄生がみられ、チョウ目害虫の被害株率がやや高かった。

御代田町の巡回ほ場は結球期であった。病害の発生はみられなかったが、コナガの寄生が多くみられ、ほぼ全株にチョウ目害虫の被害がみられた。

長野市の巡回ほ場は結球期であった。黒腐病の発生がみられたが、少発生であった。また、チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率がやや高かった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場では生育期（13～14葉期）であった。病害の発生はみられなかったが、チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率がやや高かった。

御代田町の巡回ほ場は出蕾期であった。病害の発生はみられなかったが、コナガ、ウワバ類の寄生株がみられ、特にコナガの寄生株が多く、チョウ目害虫の被害株率が高かった。



図2 はくさいのピシウム腐敗病（上田市）

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は結球始期であった。ピシウム腐敗病の発生がみられたが、少発生であった（図2）。虫害では、コナガ、ウワバ類の寄生がみられ、チョウ目害虫の被害株率が高かった。

小諸市の巡回ほ場は生育期（7～8葉期）であった。チョウ目害虫の被害がみられ、被害株率がやや高かった。病害の発生はみられなかった。

小海町の巡回ほ場は収穫期であった。ピシウム腐敗病の発生がみられ、発病株率はやや高かった。虫害ではチョウ目害虫の被害がみられたが、少発生であった。

南牧村の巡回ほ場は結球始期であった。チョウ目害虫の被害がみられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は結球始期であった。斑点細菌病の発生がみられたが、少発生であった。虫害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は生育期（4～5葉期）であった。病虫害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がみられたが、いずれも少発生であった。虫害の発生はみられなかった。

御代田村の巡回ほ場は結球期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は立茎繁茂期であった。茎枯病は少発生であった。また、チョウ目害虫（オオタバコガ）の寄生がやや目立った。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ施設栽培）は立茎繁茂期であった。病虫害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（雨よけ施設栽培→被覆資材除去）は立茎繁茂期であった。アザミウマ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は立茎繁茂期であった。茎枯病の発病株率が高く、斑点病が少発生であった。また、アザミウマ類の寄生がわずかにみられた。

9 ながいも

長野市の巡回ほ場では生育期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

10 きく

佐久穂町の巡回ほ場（露地栽培）は着蕾期であった。病虫害の発生はみられなかった。

【中农信】 巡回日 8月19日、20日、21日、23日、26日、27日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では、着果中であった。葉にコナジラミ類（少発生）の寄生がみられた。

伊那市及び安曇野市の巡回ほ場（いずれもジュース用、露地栽培）では、収穫が終了していた。

2 きゅうり

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では収穫中、松本市の巡回ほ場（施設・抑制栽培）では着果中であった。いずれの巡回ほ場でも、葉にワタヘリクロノメイガ（ウリノメイガ）（いずれも少発生）の寄生がみられ（図3）、松本市の巡回ほ場ではワタアブラムシ（少発生）の寄生もみられた。



図3 きゅうりのワタヘリクロノメイガ（ウリノメイガ）（松本市）

3 すいか

松本市の巡回ほ場では、収穫が終了していた。

4 キャベツ

茅野市の巡回ほ場では生育期（8～9葉期）、塩尻市の巡回ほ場では生育期（5～6葉期）、朝日村の巡回ほ場では定植直後であった。茅野市の巡回ほ場では外葉にコナガ及びウワバ類（いずれも少発生）、塩尻市の巡回ほ場では外葉にアザミウマ類（中発生）及びウワバ類（少発生）の寄生がみられた。朝日村の巡回ほ場では、病虫害の発生はみられなかった。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では、生育期（6～7葉期）であった。外葉にコナガ及びウワバ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

6 はくさい

木祖村の巡回ほ場では収穫期、朝日村の巡回ほ場では生育期（7～8葉期）であった。いずれの巡回ほ場でも、軟腐病（少発生）による株の腐敗がみられた。

7 レタス

塩尻市片丘の巡回ほ場では、結球期であった。軟腐病（少発生）による株の腐敗がみられた。

塩尻市洗馬の巡回ほ場では、生育中であった。外葉に斑点細菌病（少発生）の発生がみられた。

朝日村の巡回ほ場では、定植直後であった（収穫終了のためほ場変更）。病虫害の発生はみられなかった。

8 セルリー

原村の巡回ほ場では、生育中であった。葉にハモグリバエ類（少発生）の寄生がみられた。

松本市の巡回ほ場では、生育初期（トンネル下）であった。病虫害の発生はみられなかった。

9 アスパラガス

豊丘村、飯島町、池田町のいずれの巡回ほ場でも、茎葉繁茂期であった。いずれのほ場でも茎枯病（少発生・中発生・中発生）の発生及びアザミウマ類（少発生・少発生・多発生）の寄生がみられた。また、豊丘村では前回同様にハダニ類（甚発生）が高密度となっていた。

10 ねぎ

豊丘村では7.0葉、南箕輪村及び山形村の巡回ほ場では8.0葉であった。いずれの巡回ほ場においても、黒斑病（いずれも多発生）、さび病（いずれも少発生）、べと病（いずれも少発生）の発生がみられた。特に黒斑病はいずれのほ場でも前回より増加していた。

虫害では、いずれのほ場においても、アザミウマ類（甚発生・多発生・甚発生）、ネギハモグリバエ（多発生・多発生・中発生）の寄生がみられたほか、豊丘村及び南箕輪村の巡回ほ場ではネギコガ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

11 ながいも

山形村の巡回ほ場では、生育中であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

12 きく

富士見町の巡回ほ場では、収穫が終了していた。